

中学校第3学年 社会科学習指導案

日 時：平成25年10

場 所

学 級

指導者

- 1 単元名 第2章 『人間を尊重する日本国憲法』 第2節 憲法が保障する基本的人権
10 自由と権利を守るために ～国民としての責任と義務～

2 単元について

本単元は、中学校学習指導要領の公民的分野の目標（1）「個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民権を担う公民として必要な基礎的教養を培う」ことを目標に設定されており、内容として、「人間の尊重と日本国憲法の基本的原則」について、日常の具体的な事例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を理解させることが明示されている。「自由・権利を守るために、国民の一人ひとりが個々の責任や義務を果たすことの重要性について考えさせること」、「権利の濫用の問題や公共の福祉の意味について考え、相互の尊重や合意を図る態度の大切さに気付かせる」ことを主なねらいとしており、権利に対しての知識・理解だけでなく、社会的な思考・判断力を育成する面でも適している単元と考える。

3 生徒の実態

これまでの学習の中で、歴史的分野において「人権」の闘争を学び、また、公民的分野においては、私たちの人間らしい生活を保障するために日本国憲法があり、その中で様々な権利が規定されていることは知識としては学んでいるが、それらの権利が日常生活でどのように自分達と関わっているか、また、それらの権利を自分達がどう扱っていくべきか、守っていくべきかについて、気付いたり、考えたりするレベルまでは到達していない。授業では、比較的簡単な問題などには積極的に取り組み、発表するが、読み取った内容をまとめたり、考えて自分の言葉で発表したりするのを苦手とする生徒が多く見られる。そこで、授業の中で努めて、自分の考えや意見を記述したり、発表したりする場面を設けるように努力しているが、徐々に向上が見られてきている生徒もいる。今後も様々な工夫を取り入れながら、思考・判断力、表現力を向上させるべく、粘り強く取り組んでいきたいと考える。

4 指導観

本単元では、人間の尊重と日本国憲法の基本的原則、また、様々な人権の目的や意義、内容や役割について理解させながら、それぞれの特色や現在の課題点についてもおさえていきたい。また、個人の権利と自由はどこまで保障されるのか、人権と人権がぶつかり合った場合、どのようにすればよいのか、また、そうならないようにどういう点に留意しなければいけないのかといった観点から、思考を深めさせるようにしていきたい。そこで、権利の授業は、生徒達はかなり難しいイメージで入っていくものと考えられるので、例題はより身近なものを提示するよう心がけ、想起しやすいような学習教材づくりもしていきたい。そして、「自由と権利」には「責任と義務」が伴うことを理解させ、国民としての義務を果たし、国とより良い社会づくりに貢献していく態度を育てる一助としていきたい。

5 単元の目標

- (1) 日本国憲法及び様々な権利の目的や意義などに対する関心を高め、それらを意欲的に追究させる。
- (2) 日本国憲法及び様々な権利の目的や意義などについて多面的・多角的に考察させるとともに、その成立の過程や背景などについて、適切に表現させるとともに、その問題点や対策についても、資料や具体例からの学習を通して多面的・多角的に考察させ、適切に表現させる。
- (3) 日本国憲法及び様々な憲法の目的や意義などに関する資料から、有用な情報を適切に選択させて、読み取らせる。
- (4) 日本国憲法及び様々な権利の目的や意義、特に日本国憲法の三大原則と象徴天皇制における「天皇」の地位・役割について理解させ、その知識を身に付けさせる。

6 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	観察・資料活用の技能	社会的事象についての知識・理解
① 日本国憲法について興味・関心を持ち、その内容や意義を意欲的に調べている。 ② 様々な権利の目的や意義と内容、また、それらを保障するための取組みなどについて興味・関心を持ち、意欲的に調べている。	① 人権獲得の歴史や人権思想が生まれた背景について考え、適切に表現している。 ② 日本国憲法の成立までの過程や背景、意義について考え、適切に表現している。 ③ 様々な権利について、資料や具体例を通して考え、その問題点や対策について、適切に表現している。	① 様々な資料から、国や地方公共団体が行っている施策の特色について、適切に読み取っている。 ② 様々な差別の問題点などについて、課題にそって、資料から適切に読み取っている。	① 日本国憲法が「基本的人権の尊重」・「国民主権」・「平和主義」を基本原則としていることを理解している。 ② 象徴天皇制における天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 ③ 様々な権利などについて、その目的や意義、内容や役割について理解している。

7 指導と評価の計画（全 14 時間）

節	目標	主な学習活動	主な資料	評価方法と【評価規準】
1	・日本国憲法の目的や意義について興味・関心を持ち、その意味と意義について、意欲的に学習し、理解させる。	○憲法を学ぶ意味と憲法の持つ意義について調べ、まとめる。	日本国憲法	発言及び学習シートの記述内容から「日本国憲法の内容や意義等について興味・関心を持つことができたか」を評価する。【関・①】
2	・人権思想の歴史や特色について調べ、理解するとともに、人権の保障が必要となった背景について考えさせる。	○人権思想の歴史について調べ、その内容や特色を調べる。 ○人権の保障が必要となった背景と人権思想の歴史とを関連付けて考える。	啓蒙思想家の紹介 革命時の風刺画 年表	発言及び学習シートの記述内容から、「人権獲得の歴史と人権思想が生まれた社会的背景について関連付けて考えることができたか」を評価する。【思・①】
3	・大日本帝国憲法と日本国憲法の内容の違いをまとめ、日本国憲法の成立の過程とその意義について考えさせる。	○大日本帝国憲法と日本国憲法の内容の違いを調べる。 ○日本国憲法の成立の過程とその意義について考察し、まとめる。	憲法比較表 言論弾圧の様子 (風刺画)	学習シートの記述から、「大日本帝国憲法との比較から、日本国憲法のねらいがどのようなものだったのかを考えることができたか」を評価する。【思・②】

4	・日本国憲法の三つの基本原理を理解し、天皇の地位と天皇の国事行為について理解させる。	○日本国憲法の三つの基本原理の内容と考え方について、まとめる。 ○天皇の地位と国事行為について調べ、その特色をまとめる。	国会議事堂(写真) 天皇の国事行為例 (映像等)	学習シートの記述内容から、「日本国憲法の基本的原則と天皇の地位と国事に関する行為について理解できているか」を評価する。 【知・①②】
5	・自由権の考え方や意義、また、精神活動の自由についての内容を具体的に読み取り、身近な生活との関わりから考えを深めさせる。	○自由権の考え方と意義について、まとめる。 ○精神活動の自由の内容を確認し、その保障と意義について、身近な事例との関わりから考える。	自由民権運動の演説の様子 例題資料 (ポスター、広告など)	発言や学習シートの記述内容から、「自由権の考え方と意義について理解した上で、精神活動の自由について、身近な事例との関わりから考えることができたか」を評価する。【思・③】
6	・憲法で保障された生命・身体の自由及び経済活動の自由について、憲法の条文や具体例から、その目的や意義について理解させる。	○生命・身体の自由と経済活動の自由の内容について、それぞれまとめ、身近な事例との関わりから、その意義について理解する。	冤罪事件(映像・読み物等)	学習シートの記述内容から、「生命・身体の自由と経済活動の自由の目的と意義について、資料や具体例を参考にして理解することができたか」を評価する。 【知・③】
7	・身近にある差別に対しての国の施策などについて調べることを通して、自分達に出来ることを具体的に考えさせる。	○法の下での平等と平等権の意味と意義についてまとめる。 ○男女差別や障がい者差別と国などの施策について調べ、自分達に何が出来るかを具体的に考える。	各種バリアフリー設備(写真) 育児等に関するアンケート資料	発言や学習シートの記述内容から、「男女差別・障がい者差別の根絶に向けて、国や地方公共団体が取り組んでいる施策の特色について、適切に読み取っているか」を評価する。【資・①】
8	・古くから残る差別の実態について調べることを通して、日本国民としてその解消に向けてどのように関わっていくべきかを主体的に考えさせる。	○部落差別、アイヌ民族との差別、定住外国人の差別の実態について、資料を読み取り、要点をまとめる。 ○根強く残る古くからの差別の解消に向けて、どのように関わっていくべきかを考える。	アイヌについて (映像等) 在日外国人のアンケート結果	発言や学習シートの記述内容から、「様々な差別の実態について資料から読み取り、その要点をまとめることができているか」を評価する。【資・②】
9	・社会権の考え方が生まれた背景を理解し、社会権の最も基本となる生存権の保障と、それにもとづく制度について理解を深め、その意義を考えさせる。	○社会権の考え方が生まれた背景と生存権の保障に関わる制度についてまとめる。 ○社会保障制度に関わる現在及び将来の課題について考える。	生存権に関する訴訟の例 介護保険制度の仕組み(図)	学習シートの記述内容から、「社会権の生まれた背景や生存権の保障制度について理解した上で、現在及び将来の課題について考えることができたか」を評価する。【思・③】
10	・教育を受ける権利の保障の意義と重要性について理解するとともに、労働者の権利が保障されるようになった歴史的背景や政府の取り組みについて理解させる。	○教育を受ける権利の保障の内容について調べる。 ○教育を受ける権利の保障のために様々な形態の教育活動がなされていることを、資料などから読み取り、その必要性に	様々な教育現場の様子(写真等) ストライキの様子 (プロ野球の例)	学習シート及び確認小テストの記述内容から、「労働者の権利について、獲得の歴史的背景とその保障内容について理解することができたか」を評価する。

		<p>について考える。</p> <p>○労働者の権利について調べ、獲得の歴史的背景とその保障の内容について詳しくまとめる。</p>		【知・③】
11	<p>・新しい人権の根拠や内容について調べ、情報の取り扱い方について、注意すべき点を考えさせる。</p>	<p>○新しい人権について、身近な例題をもとに考えながら、その必要性についてまとめる。</p> <p>○「知る権利」、「プライバシーの権利」について理解を深めながら、個人情報を守るために注意すべき点などは何か考える。</p>	<p>ドナーカード</p> <p>コピーライトマーク</p> <p>トレードマーク</p>	<p>発言や学習シートの記述内容から、「知る権利やプライバシーの権利について理解した上で、個人情報の取り扱いに関わる注意点について考えることができたか」を評価する。【思・③】</p>
12	<p>・参政権や請願権、請求権の規定理由と、そのための仕組みづくりについて調べ、身近なところでのどのような取組みがなされているか調べさせる。</p>	<p>○参政権と請願権、請求権について、それぞれ要点をまとめる。</p> <p>○人権を守るための仕組みづくりについて確認し、身近なところでのどのような取組みがなされているか、資料等を用いて調べる。</p>	<p>人権侵害に対する相談窓口の案内カードや広告等</p> <p>大槌町広報等</p>	<p>机間巡視や学習シートの記述内容などから、「参政権や請願権、請求権の要点及びその仕組みづくりや身近なところでの取組みについて意欲的に調べることができたか」を評価する。【関・②】</p>
13	<p>・世界に広がる人権問題とそれに対する取り組みについて理解し、国際的な理解と協力の必要性の観点から、今後の日本の役割や自分達にできることを意欲的に考えさせる。</p>	<p>○世界の人権問題とその取組みについてまとめる。</p> <p>○世界各地に残る人権問題について、グループごとにテーマを絞って詳しく調べ、日本の役割や自分達に出来ることか考える。</p>	<p>ストリートチルドレン・少年兵 (写真)</p> <p>更正施設の様子 (映像)</p>	<p>机間巡視や学習シート (レポート用紙) の記述内容から、「自分達の決めたテーマについて調べ、自分達にできることを考えることができたか」を評価する。【思・③】</p>
14	<p>・人権と人権がぶつかり合った場合の事例について調べることを通して、「公共の福祉」の持つ役割や、相互の尊重や合意を図る態度が必要なことを理解させる。</p>	<p>○人権と人権が衝突した場合、どう対応すべきか考え、公共の福祉の役割についてまとめる。</p> <p>○権利を行使する際に大切なことについて理解する。</p>	<p>人権衝突の事例</p> <p>日常生活に関わるアンケート結果</p> <p>日本国憲法第 12 条</p> <p>人権調整のハカリ</p>	<p>学習シートの記述内容から、「公共の福祉が人権の調整に大きな役割を果たしていることや、権利を行使する際に大切なことは何かを理解できたか」を評価する。【知・③】</p>

6 本時の指導 (14 / 14 時間)

(1) 目標

人権と人権がぶつかり合った場合の事例について調べることを通して、「公共の福祉」の持つ役割や、相互の尊重や合意を図る態度が必要なことを理解する。

(2) 評価

観点	評価方法と評価規準	努力を要する生徒への手立て
知識・理解	<p>学習シートの記述内容から、「公共の福祉が人権の調整に大きな役割を果たしていることや、権利を行使する際に大切なことは何かを理解できたか」を評価する。【知・③】</p>	<p>板書等を手がかりにして、考えさせる。</p>

(3) 展 開

段階	学習活動	指導上の留意点	資料等
導入 5分	1 人権と人権がぶつかり合っている例から、気付いたことを話し合い学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">人権と人権がぶつかった時は、どのように解決すればよいだろうか。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・何の権利と権利がぶつかり合っているか確認する。 ・衝突した場合の解決の難かしさに気付かせ、問題意識を高めさせたい。 	公務員のストライキ 日照権 学習シート
展開 40分	2 解決の方法について予想する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <予想される考え> ・話し合いで解決する。 ・どちらかが我慢する。 ・裁判で争う。 </div> 3 解決の方法について調べる。 (1) 日常生活の中のできごとの例について調べる。 (2) 人権の制限例について例について調べる。 (3) 公共の福祉について調べる。 4 国民の権利と義務の関係について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・予想は学習シートに書かせ、自分なりの考えをもたせたい。 ・生徒たちの考えを把握し、意図的な指名など、以後の活動に生かしていく。 ・予想について、全体で吟味するとともに、「何を基準に話し合うのか」等、追究の視点を明確にしていきたい。 ・自分たちの身近な例（日常生活の中）を基に考えることで、主体的に学習に向かわせるとともに、その場合、「何が優先されるべきか」「何が大切な基準なのか」を考え合わせたい。 ・問題点が「周囲の人たちの利益になっていない」ということに気付かせ、「全体の利益の考え方」に結び付けたい。 ・導入で扱った「公務員ストライキ」「日照権」を例に考えさせる。 ・人権に制限されている事実をもとに、なぜ一方の人権が制限されているのか考えさせ、「社会全体の利益」についての視点で制限させることがあることについて気付かせたい。 ・「公共の福祉」の考え方について、理解を深められる資料を提示する。 ・公共の福祉の役割について考えさせる。 ・「自由・権利」と「責任・義務」を関連付けて理解できるようにする。 ・権利を行使する際に大切なことについて考える。 	学習シート 日常生活に関するアンケート結果 公務員のストライキ 日照権 日本国憲法第12条 人権調整のハカリの図
まとめ 5分	5 本時の学習を振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">(例) 人権と人権がぶつかり合った時には、自分のことだけを考えて権利を主張するのではなく、公共の福祉の考えのように、全体の利益のことを考えて解決していくことが大切である。</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対するまとめを記入させる。また権利を主張するときに大切なことについてもあわせて記述させる。 ※評価【知識③】 	
	7 次時の予告をする。		